

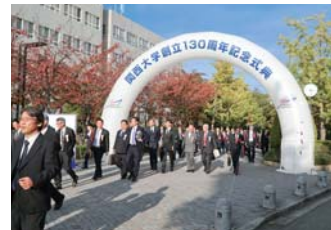
■創立130周年記念特集

# 《関西大学創立130周年記念式典・祝賀会を開催》

## 伝統への自信 未来への考動

### —「学縁」を世界に広げよう—

関西大学は11月4日、これまで進めてきた創立130周年記念事業の集大成として、千里山キャンパスにおいて記念式典と祝賀会を挙行了。関西大学は、「正義を権力より護れ」を建学の精神とし、「学の実化」を学是に掲げて社会・市民の啓発と教育に取り組んできた。130周年を機に、新しい歴史の幕開けとして、これまで受け継がれてきた知と精神を確実に継承し、社会の要請に応える学園の創出に、一丸となって邁進することを宣言した。



当日、BIGホール100で開催された式典には、来賓・大学関係者約800人が出席し、創立130周年を盛大に祝った。

式典は、安部善博常務理事による開式の辞で開幕し、続いて学歌が斉唱された。池内啓三理事長は、130周年を迎えた謝意や決意を表するとともに、「今日は、未来永劫への厳粛な接点。肝心なのはこの130周年が、未来に向けた出発点となることです。予測困難な時代にあって、未来を問い、対話を重ね、答えを模索し、挑戦する。そんな姿こそ、我々が目指す将来像です」と、本学の更なる発展に向けて力強く宣言し、本学構成員が一丸となって、より輝ける「未来」を志向していくことを誓った。また、次なる20年である創立150周年に向けての行動指針「Kandai Vision 150」を発表。メインテーマ



では、「多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか」を設定し、今後ますます本学を取り巻く環境が厳しくなるとの認識のもと、将来を見据え、よりスケールの大きなビジョンを描いた。

芝井敬司学長は、「創設から数えて130年の時を刻み、かくも立派な大学に成長することができました。そして、数々の困難を乗り越えて、創立者たちの熱さと名誉ある伝統を、今ここに受け継いでいることを、大いに誇りとするものであります。私たちは、関西大学の過去を受け継ぎ、それを未来の世代に受け渡していく責任を担う存在です」と、創設から今日までの本学の歩みを振り返るとともに、未来に向け勇気を持って進む意思を伝えた。

来賓紹介の後は、水落敏栄 文部科学副大臣、鎌田薫 一般社団



法人日本私立大学連盟会長、河田悌一 日本私立学校振興・共済事業団理事長らが祝辞を述べ、著名な校友等からのビデオ・メッセージの上映も行われた。さらに、特別公演として第一線で活躍中の能楽師・狂言方の野村萬斎氏による『三番叟』と、有形文化財である山本能楽堂を拠点としているシテ方の山本章弘氏(校友)による『高砂』が上演され、式典に華を添えた。

矢野秀利常務理事による閉会の辞をもって式典は終了。会場を100周年記念会館に移して行われた祝賀会では、応援団による演舞・演奏が披露されたほか、サプライズゲストとして、フィギュアスケーターの宮原知子さん(文1)と本田真凜さん(関西大学中等部3年生)も登場し、130周年という佳節を祝した。



### ● 関西大学創立130周年記念展示会

#### 130年におよぶ伝統の軌跡を展覧



▲オープニング・セレモニーの様子

第1会場の関西大学博物館では「関西大学のちから～伝統への自信 未来への考動～」をテーマに、「地から～大阪」「道から～伝統」「智から～叡智」「馳から～スポーツ」「千から～コレク

ション」の5つの「ちから」が象徴する本学所蔵の名品を紹介。本学創立者ゆかりの品から130年の軌跡、近世・近代に大阪で活躍した大坂画壇の絵画、歴代アスリート達の栄光の記録、校友からの寄贈を含む博物館コレクションの数々が展示された。天六キャンパス体育館の部材を用いたウクレレや、体育会アイススケート部の宮原知子さん(文1)のメダルなどの名品に、来場者はじっくりと見入っていた。

また、第2会場の大阪歴史博物館では「関西大学蔵 本山コレクションの精華」をテーマに、大阪毎日新聞社元社長の本山彦一氏が蒐集した重要文化財や重要美術品を中心とする考古学資料を公開。学外での一挙展覧は初めてということもあり、貴重な品々を一目見ようと多くの人が訪れた。

ション」の5つの「ちから」が象徴する本学所蔵の名品を紹介。本学創立者ゆかりの品から130年の軌跡、近世・近代に大阪で活躍した大坂画壇の絵画、歴代アスリート達の栄光の記録、校友からの寄贈を含む博物館コレクションの数々が展示された。天六キャンパス体育館の部材を用いたウクレレや、体育会アイススケート部の宮原知子さん(文1)のメダルなどの名品に、来場者はじっくりと見入っていた。

また、第2会場の大阪歴史博物館では「関西大学蔵 本山コレクションの精華」をテーマに、大阪毎日新聞社元社長の本山彦一氏が蒐集した重要文化財や重要美術品を中心とする考古学資料を公開。学外での一挙展覧は初めてということもあり、貴重な品々を一目見ようと多くの人が訪れた。

- ちから 地** (大阪)：創作者 児島惟謙
- ちから 智** (重畳)：関西法律学校講義録
- ちから 千** (コレクション)：木村兼殿堂 (花蝶之図)、タブアヌ仮面 (ミクロネシア)
- ちから 道** (伝説)：関西法律学校講義録
- ちから 馳** (スポーツ)：バンクーバー五輪 フィギュアスケート銅メダル (高橋大輔氏所蔵)



■創立130周年記念特集

●関西大学創立130周年記念事業 《梅田キャンパス開設》

地域・社会人・大学が共に発展できる新拠点  
「KANDAI Me RISE」が発進

関西大学は、創立130周年を機に更なる飛躍を目指し、10月1日、大阪市北区鶴野町に「関西大学梅田キャンパス(愛称 KANDAI Me RISE)」を開設した。同キャンパスのコンセプトは、「人を導き、繋ぎ、自ら起こし、創る“人”を育成～“考動”を実践する場の創出～」。大学関係者のみならず、多くの人が集い、にぎわう交流の場になることを目的とし、社会人向けの学び直し大学院プログラムや各種生涯学習講座をはじめ、起業支援や会員制の異業種交流サロンなど新しい事業を展開する。また、館内には「キャリアセンター梅田オフィス」もオープン。関大生のキャリア・就職支援体制も一層強化され、最新キャリア情報が集積する就職・進路相談の場としての更なる活用に期待が寄せられる。



梅田キャンパス コンセプト



▼梅田キャンパス事業の3つの柱とキャリアセンター

■スタートアップ支援

- ＜起業マインドを醸成し、多様な人材を育む＞
- ・常駐コーディネーターへの起業相談が毎日可能
- ・同じ志を持つ仲間と出会う
- ・専門家による無料セミナーを毎週受講できる

■会員制異業種交流サロン

- ＜異業種交流を促し、イノベーションを創出＞
- ・サロン内の2000冊以上の図書が自由に利用できる
- ・会員同士のネットワーク構築ができる
- ・会員向けセミナー・交流会などに参加できる
- ・会議室、自習用デスク、コピー機等の利用ができる

■社会人学び直し・生涯学習

- ＜社会人を対象にさまざまな学びを提供。天六キャンパスの精神を継承する＞
- ・「社会人学び直し大学院プログラム」などを受講できる
- ・受講者は休日に千里山キャンパス総合図書館で調査・研究ができる
- ・異業種の方々と共に学び、交流できる

■キャリアセンター 梅田オフィス

- ＜関大生の就職活動を力強く支援＞
- ・就職活動の相談や参考図書の閲覧ができる
- ・インターネットの利用や各種証明書発行など、多様なサービスが受けられる
- ・企業研究会や採用説明会を開催
- ・卒業生就業支援サービスを展開

▼梅田キャンパス フロアガイド

- TSUTAYA BOOK STORE  
●スターバックス コーヒー  
書店とカフェ機能を加えたBOOK & CAFEを設置。情報発信機能も有し、一般の方々にも広く利用いただけます。
- スタートアップ支援窓口「スタートアップカフェ」  
●梅田キャンパスオフィス  
起業家育成支援窓口として「スタートアップカフェ」を設置。スタートアップに関連する無料のセミナーやイベントを随時開催します。
- 会員制異業種交流サロン「KANDAI Me RISE 倶楽部」  
ビジネスマンを対象とした会員制異業種交流サロンを設置。上質な空間で会員同士を繋ぎ、異業種間のネットワーク構築による新たな価値創造の場として展開します。
- 会員制異業種交流サロン「KANDAI Me RISE 倶楽部」  
●多目的ルーム「KANDAI Me RISEラボ」  
多目的ルームでは、セミナーやワークショップをはじめ、懇談会など交流イベントでの利用が可能です。
- キャリアセンター梅田オフィス  
学生の就職活動支援を実践する場の提供とともに、立地を活かした卒業生就業支援事業も展開します。
- 各種教室・セミナールーム  
「社会人学び直し大学院プログラム」における一部の講義エリアとしての利用に加え、中～少人数対象の生涯学習や起業支援等の関連セミナー実施での利用が可能です。
- 各種教室・セミナールーム/ホワイエ  
生涯学習等実施のメインエリアです。休憩のためのホワイエも設置しており、各種情報発信の場としての機能もあります。
- 大ホール「KANDAI Me RISE ホール」  
大人数を対象とした講演会など、生涯学習での利用ができます。ケータリング対応機能も持たせており、レセプション等の実施も可能です。

●関西大学創立130周年記念事業

千里山キャンパスへの新たな玄関口  
「新アクセス・エリア」が竣工



千里山キャンパスへの新たなアクセス・エリアが完成し、8月31日に竣工式が執り行われた。

関西大学創立130周年記念事業の一環として開設された新アクセス・エリアは、エスカレーターや憩いの広場、植樹による緑の空間をスマートに演出することで、学生や地域住民の方々の利便性と快適性を高め、人に優しいアプローチを創出。通学時の混雑緩和はもちろんのこと、同キャンパスは吹田市における災害時の一時避難地として指定されているため、有事の際の安全・安心な移動経路としての価値も併せ持っている。

野球専用グラウンド  
「KAISERS BASEBALL FIELD」が完成



8月25日、千里山キャンパスにおいて、野球専用グラウンド「KAISERS BASEBALL FIELD」完成に伴う竣工式が挙行された。新グラウンドは、1970年から正課体育授業や課外活動等に使用されてきた千里山北グラウンドを改修し、野球専用グラウンドとしてリニューアルしたもので、内野に黒土、外野に人工芝を使用。

当日は、池内啓三理事長や楠見晴重前学長ら10人による始球式が行われ、マウンド付近から捕手目掛けて一斉に投げ込むという斬新な光景に、集まった野球部員達から拍手と歓声が沸き起こった。その後、内覧会と竣工式が執り行われ、関係者が本グラウンドの発展と繁栄を祈願した。